2013 年度

大学・大学院奨学生募集要項

公益財団法人 朝 鮮 奨 学 会

本　　部　〒160-0023　東京都新宿区西新宿 1-8-1 新宿ビル９階
電話 03-3343-5757　　fax 03-3344-3947
関西支部　〒536-0007　大阪府大阪市城東区成育 5-22-10
電話 06-4255-3618　　fax 06-4255-3617
ホームページ　　http://www.korean-s-f.or.jp

公益財団法人 朝 鮮 奨 学 会
２０１３年度　大学･大学院奨学生募集要項

１．応募資格

次の事項に該当する者

①日本の大学の学部（短期大学も含む）および大学院の正規課程(通信課程は除く)に在籍している韓国人・朝鮮人学生（特別永住者証明書・在留カード〈または外国人登録証明書〉）の国籍表示が韓国もしくは朝鮮）。本国からの留学生を含む。

②成績が優良で学費の支弁が困難な者。

③２０１３年４月１日現在､学部生は満３０歳未満､大学院生は満４０歳未満の者(継続応募者は除く)。

④学部生は、**２学年以上**の者。大学院生は、１学年から応募できる。ただし、法科大学院の未修コース（３年制）に限り**２学年以上**の者。

⑤他の奨学金を受給していない者。ただし、貸与奨学金、本会奨学金と同額未満の給与奨学金、学内奨学金は受給していても応募できる。

２０１２年度本会の奨学生であった場合

・学部生の学業成績は、修得総科目の成績評価値が原則として**２．７以上**であること。
（優＝５、良＝３、可＝１とするその平均値）
・進級して学部および修士課程・博士課程・専門職課程に在学している者は継続生として応募できる。
・進学して修士１年生もしくは博士１年生になった者は新規生として応募できる。
・短期大学卒業後、４年制大学の３年生以上に編入した者は新規生として応募できる。
・２０１２年度に採用されたのち途中辞退した場合は新規生として応募できる。
・留年した者、学部を卒業して学士編入した者は応募できない。

２０１２年度本会の奨学生でなかった場合

・学部生の学業成績は、修得総科目の成績評価値が原則として**２．７以上**であること。
（優＝５、良＝３、可＝１とするその平均値）
・初めて応募する者は、新規生として応募する。
・過去に本会の奨学生であっても２０１２年度本会奨学生でなかった場合は、新規生として応募する。
・高等専門学校（高専）の専攻科に進学した者は、新規生として応募できる。
・大学院において各課程の最短履修年限を超えて在籍している者は応募できない。
・本国からの留学生で、交換留学生として在学している者は応募できない。
・研究生、別科生、専攻生、聴講生は応募できない。

※ 韓国人留学生の新規応募については、「５．応募方法」の「②留学生」を参照すること。

２．奨学金金額と募集人数

		奨学金金額	募集人数
学部生		月額　２５,０００円	現在調整中　(前年度は 630 名)
大学院生	修士課程・専門職課程	月額　４０,０００円	〃　(前年度は 90 名)
	博士課程	月額　７０,０００円	

◇本会の奨学金は給付制であり、返還の義務はない。

３．給付期間

奨学金の給付期間は１年間（４月～翌年３月まで）である。

※６年制（医・歯・薬・獣医系）の学部生の最長受給年限は４年間である。

※博士課程(博士後期課程)の最長受給年限は２年間である。

４．募集期間

２０１３年４月１日（月）～ ５月１日（水）（5/1 消印有効）

※締切日または前日の場合は速達にすること。

５．応募方法

① 特別永住者等 （永住者、定住者、家族滞在などを含む）

期間内に応募書類を一括して本会本部または関西支部に必ず**特定記録**で郵送すること。

② 留学生

継続応募者は①と同じ。新規に応募する場合は各大学の奨学金担当の部署を通じてのみ応募できる。**個人で直接応募できない**ので注意すること。大学ごとに募集方法や書類の提出期日が異なるので、大学の担当部署に問い合わせること。

※大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山の大学に在学している者は関西支部に、それ以外の地域は本部に郵送すること。
※本会事務所の窓口では直接受付けない。
※日本国外から送る場合は、ＥＭＳ（国際スピード郵便）など伝票が手元に残る方法で郵送すること。

６．応募書類

① 大学・大学院奨学生願書	１通	（本会所定様式：4 ページ）
② 研究計画書（大学院生のみ）	１通	（本会所定様式：2 ページ）
③ 在学証明書	１通	（2013 年 4 月 1 日以降発行のもの） ※「学生証」のコピー不可
④ 学業成績証明書	１通	※「成績通知書」不可
⑤ 推薦書	１通	（本会所定様式：親展にすること）
⑥ 特別永住者証明書･在留カード（または外国人登録証明書）のコピー	１通	（本会所定様式に「カードの表裏のコピー」を貼り付けること）（応募者本人の国籍及び在留資格が表示されている住民票も可。ただしコピー不可）
⑦ 収入等に関する調査書	１通	（本会所定様式に「収入等に関する書類」を貼り付けること）調査書Ａ：特別永住者等(永住者、定住者、家族滞在などを含む)用 調査書Ｂ：留学生用
⑧ 返信用封筒	１通	（新規大学院生のみ２通）
⑨ 応募書類チェックシート	１通	（本会所定様式）

◇応募書類の作成においては、「記入の手引き」を参照すること。

７．願書請求方法

願書等、所定の用紙は本部・関西支部で配布する。また、本会ホームページからダウンロードできる。

８．選考と結果

書類審査と必要により面接審査を行う。面接を行う場合は別途通知する。選考結果は、継続応募者は６月中旬、新規応募者は７月中旬に大学と応募者本人に文書で通知する。

選考結果（「採用」及び「不採用」）についての問い合わせには応じない。また、提出した応募書類は返却しない。

※採用された学生は本会の諸行事に必ず出席しなければならない（遠方地の者については考慮する）。
※応募後に本会奨学金と同額以上の他の給与奨学金の受給が決定した場合は必ず連絡すること。
※応募書類によって得た個人情報は、選考および応募者本人との連絡以外の目的には使用しない。ただし奨学金の重複受給を確認する目的に限り、他の奨学団体に姓名・生年月日等を開示することがある。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

公益財団法人朝鮮奨学会について

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

○本会の歩みと現在

朝鮮奨学会は日本で勉学している同胞学生を支援するための奨学育英機関で、１１０余年の歴史があります。１９４３年、日本政府から公益事業をする「財団法人朝鮮奨学会」としての認可を得ました。

歴史の流れとともに幾多の変遷がありましたが、１９５７年に所属団体や思想・信条の違いなどを超越し、在日同胞が一致団結して理事会を再建しました。その後、日本の学識経験者とともに理事会・評議員会を構成して今日まで同胞学生のための育英事業を推進しています。

奨学会は現在、東京の新宿（本館）、代々木（別館）と大阪（関西奨学会館）にビルを所有し、これらの基本財産から得られる収益で、日本の高校・大学・大学院で学ぶ同胞学生に奨学金を給付するなどの事業を行っています。奨学会は日本政府からも本国の南・北の政府からも財政的援助を受けず、自主財源のもとに運営されています。

２０１２年7月３１日、新公益法人制度のもと公益認定を取得し、同8月１日、「公益財団法人朝鮮奨学会」に移行しました。

○主な事業

朝鮮奨学会は、成績優良でありながら学費の支弁が困難な在日同胞学生と留学生に奨学金を給付しています。

大学・大学院の奨学生は１９６１年からの本格的な奨学金給付事業の再開以来、延べ約２万９千名、高校・高専の奨学生は１９６６年以降で延べ約４万４千名になり、その奨学事業費の総額は１３０億円に達します。

奨学生を対象に講演会や国語講座、ウリマル発表会を行い、会報誌『セフルム』を通して民族の心と文化を育み、交流会や懇談会を開いて親睦をはかっています。また、大学院生の研究発表会を開催し、『学術論文集』を刊行して学術研究の奨励を行っています。

公益財団法人朝鮮奨学会定款

第２章　目的及び事業

（目的）

第３条　この法人は、日本の諸学校に在学する韓国人・朝鮮人学生等の奨学援護を行うとともに、学術奨励と研究助成を行い、もって有為な人材育成と国際交流に寄与することを目的とする。

（事業）

第４条　この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 奨学金給付

(2) 学生支援及び学術研究奨励

(3) 会館の運営

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

奨学金給与規程

※公益財団法人移行に伴い、新しい定款に基づく「奨学金給与規定」を現在策定中です。

第１章　総　則

財団法人朝鮮奨学会寄附行為第４条に基づきこの規程を定める。

（奨学生の資格）

第１条 本会の奨学生となるものは、韓国人・朝鮮人であって、学校教育法第1条に規定する高等学校、大学（大学院を含む）に在学し、学業、人物ともに優秀で、かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められるものでなければならない。

事務処理欄 （記入不要）

受付日	受付No.	応募者 ID	本部/支部/地方	大学院/学部
			奨学生番号	

公益財団法人 朝鮮奨学会

2013 年度 大学･大学院奨学生 願書

※注意 「記入の手引き」を参照に、必ず本人が記入すること（ワープロ入力も可)。

姓 名	（漢字）	（ハングル）	
		カタカナ読み	
	（通称名）	性 別	□男 □女
生年月日	１９ 年 月 日	年 齢	満 歳
国 籍	□韓国 □朝鮮	本籍地	道 市
在留資格	□特別永住者 □永住者 □定住者 □家族滞在 □就学（留学） □その他（ ）		
出 生 地	都道 府県	渡日年月	年 月 （滞在 年目）

継続 | 新規

ﾀﾃ 4.5 cm×ﾖｺ 3.5 cm

写 真

正面脱帽、6 カ月以内に撮影したもの

写真裏面に姓名・学校名・学年を記入

在学校名	国立 公立 私立	大学院 大 学 短期大学	学 年(4 月現在の学年)
	通学するキャンパスの所在地		博士 修士・専門職 学部・短大 年
課 程	研究科 学 部	専攻 学科 (コース)	□昼間部 □夜間部
	年 月 入学・編入学	年 月 卒業・修了見込	

現住所	〒 ― 都道 府県 （アパート名等） 号室	電話番号	固定電話（ ） ―
			本人携帯（ ） ―
通学状況	①自宅通学 ②自宅外通学：寮・アパート・親類宅・その他（ ）		

本人以外の連絡先（親権者等）	姓 名		本人との関係	父・母・その他（ ）
	住 所	〒 （アパート名等）	電話番号	（ ） ―

［① 願 書 1/4］

事務処理欄 （記入不要）

提出書類のチェック	留学生学推	連絡	受付日	備考
□願書（1.2.3.4） □写真 □研究（1.2） □在学 □成績 □推薦（ ） □外ｺﾋﾟｰ □収入（A・B）（ ） □封筒 □ﾁｪｯｸｼｰﾄ	□有 □無	□済（ ） □未		

（公益財団法人 朝鮮奨学会 様式①：2013）

姓名［　　］

応募者本人の経歴について

学　歴	＊編入学・休学・退学、また日本語学校の在学歴なども正確に記入すること
年　月	小学校　卒業（所在地　　）
年　月	中学校　卒業（所在地　　）
年　月	高等学校　卒業（所在地　　）
年　月	
年　月	
年　月	大学　学部　学科入学
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	

職歴・団体役歴・兵役	＊できるだけ具体的に記入すること
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	
年　月～　年　月	

母国語理解度（複数回答可）	部活・サークル	資格・免許	趣味・特技
1. 会話ができる。 2. 読み書きができる。 3. 簡単なあいさつ、単語を知っている。 4. 理解できない。			

学業成績について※小数第２位を四捨五入

・学部生は１年次からのすべての成績。
・修士課程・専門職課程既修コース(2年制)
　１年生は学部時の全学年度の成績、２年生以上は修士課程・専門職課程の全学年度の成績。
・博士課程１年生は修士課程の全学年度の成績、２年生以上は博士課程の全学年度の成績。

成　績			科目数＊1　×評価点＝　計	
秀、優	A+、A	80点以上	×５点 ＝	
良	B	70～79点	×３点 ＝	
可	C	60～69点	×１点 ＝	
合　計			(a) 科目数合計	(b) 点数合計

＊１　評価が「合格」・「認定」でなされる科目または教職科目等資格取得のための科目は除く。
…　〈上記に該当する科目数：　　科目〉

成績評価値			取得単位	卒業単位	備考
(b) / (a)	＝	点	単位	単位	

姓名［　　］

家族構成および経済状況（応募者本人は除く）

	続柄	姓　名	年齢	職　業	年間収入（所得）	同居 別居
	父				円	同・別
	母				円	同・別
					円	同・別
					円	同・別
					円	同・別

応募者を除く就学者	続柄	姓　名	年齢	本会奨学金の応募者に☑	学校名	学年	同居 別居
				□応募中		年	同・別
				□応募中		年	同・別
				□応募中		年	同・別
				□応募中		年	同・別

主たる家計支持者について

続柄	姓　名	職業（会社名・業種・職責）	自営の場合 従業員の数	年間収入（所得）
				円

応募者本人の経済状況（１カ月あたりの生活費等）

	項目	自宅生	自宅外生
収入	家族からの援助（学費を除く）	円	円
	アルバイト（　　）	円	円
	奨学金（　　）	円	円
	その他（　　）	円	円
支出	授業料（年額）	円	円
	交通費	円	円
	家賃（光熱費を除く）	記入不要　円	円
	その他（　　）	円	円

今年度 他の奨学金への応募・受給について（学内奨学金は除く）　①あり　②なし

奨学金名称	金額（月額）	形態	受給期間	審査決定時期
	円	給付・貸与	年　月～　年　月	頃
	円	給付・貸与	年　月～　年　月	頃
	円	給付・貸与	年　月～　年　月	頃

過去の本会奨学金への応募・受給について　（該当する箇所に○をしてください）

応募	2012 年度	2011 年度	2010 年度	本会 奨学金 受給歴	高校　年間	学部　年間 修士（専門職）　年間 博士　年間
受給	2012 年度 （奨学生番号　　）	2011 年度	2010 年度			

奨学金応募理由

姓　名	大　学　名	学部／研究科	課 程	学 年
			博士・修士・専門職 学部・短大	

奨学金応募の理由（家庭事情等を具体的に記入すること）

入学の動機、学業状況、大学生活の目標と進路、自己ＰＲ等（写真等の貼付可）

（公益財団法人　朝鮮奨学会　様式①：2013）

研 究 計 画 書（大学院生のみ提出すること）1/2

［ワープロ入力推奨］　　年　　月　　日 記入

姓　　名	大　学　名	研　究　科　名	課 程	学 年
			博士 修士 専門職	

研究計画・研究状況

①研究テーマ ②研究目的 ③研究方法 ④その他(研究状況など)の項目を立て記入すること
※専門職課程の在籍者は上記に限らず学習の計画・状況を記入すること

（公益財団法人　朝鮮奨学会　様式②：2013）

研 究 計 画 書（大学院生のみ提出すること）2/2

姓名[　　]　大学名[　　]［ワープロ入力推奨］

<table>
<tr><td rowspan="2">研究業績</td><td colspan="2">①論文名 ②学術誌名 ③掲載年・号数・掲載ページを記入
・査読の有無を明記すること。学会・会議等の報告集の場合はその旨を明記すること。いずれの場合も掲載済み（決定済み）か投稿中かを区別すること。
・共同研究の場合はすべての著者名を記入し、応募者名には下線を引く。ただし著者が3名を超える場合は応募者を含む3名まで著者名を記入し、その他○名とする。
・応募者が corresponding author の場合は明記すること。
・学術誌等への既発表論文がある場合は代表的なもの1編の別刷りを添付すること（コピーでも可）。
・学術誌が主たる業績発表の場でない分野の場合、論文に相当する業績について記入すること。
・下記「研究業績」欄に収まらない場合は、別添での提出も可とする。その際にはその旨を記載し、別紙にも応募者本人の姓名・大学名を記入すること。
・受賞歴等があれば記入すること。また作品やその写真・資料を添付してもよい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【日本語・ハングル】

【英文】

所属学会：</td></tr>
<tr><td rowspan="3">論文題目</td><td>博士論文</td><td></td></tr>
<tr><td>修士論文</td><td></td></tr>
<tr><td>学部論文</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">指導教員名</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">指導教員
研究テーマ</td><td></td></tr>
</table>

年　　月　　日

公益財団法人　朝鮮奨学会　御中

学校名

所在地

推薦者署名 _____ ㊞

（職責　　）

推　薦　書

貴会の大学・大学院奨学生としてふさわしい学生と認め、下記の者を推薦いたします。

応募者姓名			年　月　日生（満　歳）	男・女
	大学		学部 研究科	学科 専攻
課程	博士 修士 専門職 学部	年	年　月　入学・編入学	
			年　月　卒業・修了見込	
所見				

※親展にして下さい。
※この推薦書で得た個人情報は、選考以外の目的には使用しません。

特別永住者証明書・在留カード（外国人登録証明書）のコピー貼付用紙

特別永住者証明書・在留カード
（外国人登録証明書）のコピー

［おもて面］

特別永住者証明書・在留カード
（外国人登録証明書）のコピー

［うら面］

※変更記載がなくても貼付してください。

※応募者本人の国籍及び在留資格が表示されている**「住民票」**も可（発行されて３カ月以内のもの。コピー不可）。その場合は貼付せずに、その他の書類と一緒に提出してください。

収入等に関する調査書Ａ

-特別永住者等(永住者、定住者、家族滞在などを含む)の応募者用-

年　　月　　日 記入

姓　名	大　学　名	学 部 / 研 究 科	課 程	学 年
			博士・修士・専門職 学部・短大	

下表を参照し「収入等に関する書類」をこの枠内に貼り付けてください。

２０１２年（平成２４年）１月～１２月の収入・所得を証明する書類

○＝提出 △＝諸事情により、2012 年 1 月～12 月の収入・所得を証明する書類が提出できない場合は、前年の所得証明書（課税／非課税証明書などで 2011 年 1 月～12 月の所得を証明する書類）でも可とする。その場合は別紙理由書（書式自由）を添えること。	源泉徴収票	確定申告書(控)	年金交付通知書	保護決定(変更)通知書	所得証明書(課税・非課税証明書)
発行機関等	勤務先	税務署	社会保険庁	福祉事務所	市区町村役場
給与所得者 （パート・アルバイト含む）	○				△
自営業者		○※1			△
年金受給者			○※2		△
生活保護扶助費受給者				○	△

※１　税務署の受付印があるものに限る。電子申請・ｅ－ｔａｘを行った者は、申告内容確認票のコピー及び受信通知または即時通知を添付したものに限る。また納税証明書「その２」でも可とする。

※２「年金振込通知書」、「年金額改定通知書」でも可とする。

収入等に関する調査書Ｂ

-在留資格が「就学(留学)」の応募者用-

姓　名	大 学 名	学部/研究科	課 程	学 年
			博士・修士・専門職 学部・短大	

◇家族の経済状況

	続柄	姓　名	年齢	職業（会社名・業種・職責）等※2	年間収入※3
家計支持者※1	父				円
	母				円
					円
					円
					円

※１　本人と同一生計で収入・所得がある家族全員を記入すること（本人及び既婚の兄弟姉妹〈別生計〉を除く)。ただし応募者本人が主たる家計支持者の場合は、本人のものを記入し、既婚の場合は配偶者も記入すること。

※２　アルバイト、年金などの収入がある場合はその旨を職業欄に記入すること。

※３　給与所得者（会社員・アルバイト等）は収入、給与所得者以外（自営業者等）は所得（収入から必要経費を差し引いた額)、年金受給者等は収入（控除前の額）とし、昨年（２０１２年１月１日～２０１２年１２月３１日)の金額を記入すること(応募時点の為替レートで換算し、円で記入)。

◇本人の経済状況

本人の収入月額の合計（A+B+C+D）	円
A.家族からの援助　※1	円
B.アルバイト(　　) ※2	円
C.給与制奨学金（　　) ※3	円
貸与制奨学金（　　)	円
D.その他　（　　) ※4	円

※１　おおよその金額を記入すること（予定額でも可)。

※２　複数の場合はその合計金額を記入すること（予定額でも可)。

※３　２０１３年度に受給予定（受給が決定しているもの）の奨学金名等を記入すること。

※４　その他の借入金や配偶者収入等を記入すること。

以上のとおり記載事項に相違ありません。

年　　月　　日

本人　　姓名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自署)

応募書類 チェックシート（2013 年度）

このチェックシートも他の応募書類と一緒に提出すること。

姓　名	大　学　名	課 程	学 年
		博士・修士・専門職 学部・短大	

	○ チェック	応募書類	
①		願書 1/4 及び 写真	
		願書 2/4	
		願書 3/4	
		願書 4/4	
②		研究計画書(大学院生のみ)1/2 と 2/2	
③		在学証明書	
④		学業成績証明書	
⑤		推薦書	【応募期間内に提出できない理由】
⑥		特別永住者証明書・在留カード （または外国人登録証明書）の表裏コピー	
⑦		「収入等に関する調査書Ａ」 － 特別永住者等 （永住者、定住者、家族滞在などを含む）	【応募期間内に提出できない理由】
		「収入等に関する調査書Ｂ」 －留学生のみ	
⑧		返信用封筒　（90 円切手を貼ること） ※新規大学院応募者のみ２通、他は１通	

特記事項－願書、研究計画書(大学院生)は、応募者本人が記入すること。

－応募書類の記入内容に虚偽があることが判明した場合は、選考結果が取り消されることがあるので正確に記入すること。

－応募書類の不足、記入不備等がある場合は、選考の対象外となる。本会より不足書類の督促は行わないので注意すること。

－⑤「推薦書」と⑦「収入等に関する調査書」に限り、提出が遅れる場合は下記の日付までに必ず提出すること。

不足書類の提出期限
2013年5月10日（金）消印有効

※締切日当日または前日の場合は速達にすること。
※封筒に応募者本人の姓名・大学名・学年を記入すること。

公益財団法人 朝鮮奨学会　大学・大学院奨学金　応募書類記入の手引き（2013 年度）

※記入全般の注意：原則として黒のボールペン等を使用し、日本語で記入すること(ワープロ入力も可)。

①**願書**（本会所定様式 4 ページ）

◇1/4 ページ	
・姓名	ハングル表記およびハングルのカタカナ読みがわからない場合は空欄のままでよい。 通称名で通学している場合は、通称名欄にも記入すること。
・在留資格	特別永住者証明書、在留カード（または外国人登録証明書）を参照し、該当する個所に☑すること。
・出生地	都道府県名を記入し、本国の場合は道または市を記入すること。
・渡日年月	日本以外の国で出生した人は必ず記入すること。
・在学校名	略さずに正式名を記入すること。
・写真	写真裏面に姓名・学校名・学年を記入すること。
・学年	大学院生の学年は５年一貫博士課程（前・後期制）の場合でも、修士課程、博士課程の該当年次で記入すること。
・現住所	応募者本人が居住する住所を記入すること。寮、アパート、マンション名と居住する部屋の号室を必ず記入すること。
・本人以外の連絡先（親権者など）	応募者本人の親権者またはそれに準ずる者の連絡先を記入すること。
◇2/4 ページ	
・母国語理解度	母国語とは、韓国語・朝鮮語のことである。 該当する番号に〇をつけること（複数回答可)。
・学業成績	算定表で正確に計算したうえ、記入すること。大学院生で、単位制でない場合はその旨を備考欄に記入すること。
◇3/4 ページ	
・家族構成および経済状況	応募者が既婚の場合は父母および配偶者と子について記入すること。
・同居・別居	応募者本人ではなく、「主たる家計支持者（父母等)」から見た場合を記入すること。
・主たる家計支持者	同一生計家族のうち、父母またはこれに準ずる人で、最も収入・所得が高い者。
・年間収入・所得	⑦「収入等に関する書類」を参照すること ＊給与所得者（会社員等）の場合には「源泉徴収票」の支払金額を記入すること。 ＊給与所得以外（自営業等）の場合には「確定申告書」等の所得金額を記入すること。 ＊年金受給者の場合は市町村役場発行の「所得証明書（課税/非課税証明書など)」の総支給額を記入すること。または「年金交付通知書」等も可。 ＊生活保護受給者はその年額を記入（「職業」欄に年金または生活保護と記入）すること。 ＊応募者本人が主たる家計支持者の場合は、本人のものを記入すること。
◇4/4 ページ	
・奨学金応募理由	自己ＰＲ等において、美術系の専攻者は、作品の写真等を貼付すること。

② **研究計画書**（本会所定様式 2 ページ）

③ **在学証明書**（「学生証」のコピー不可）　　2013 年 4 月 1 日以降発行のもの

④ **成績証明書**（「成績通知書」は不可）

・修士課程１年生、専門職課程既修コース（２年制）１年生は学部時の全学年のもの、博士課程１年生は修士課程時の全学年の成績証明書を提出すること。

・大学院生で今年度入学の留学生は、入学時に在籍大学に提出した成績証明書の複写でもよい。

⑤ **推薦書**（本会所定様式：必ず親展にすること）

・学部生は、学部長、指導教員、クラス担任、奨学金担当者、いずれかの推薦書を提出すること。

・大学院生は、指導教員の推薦書を提出すること。指導教員がいない場合は上記と同じ。

⑥ **特別永住者証明書・在留カード（または外国人登録証明書）の表裏コピー**　（本会所定様式）

本会所定用式にカードコピーを貼り付けること（コピーの拡大不要）。

市区町村役場で発行される応募者本人の国籍及び在留資格が表示されている住民票（発行されて３カ月以内のもの）も可。ただしコピー不可。

⑦ **収入等に関する調査書**（本会所定様式）

本会所定用式に「収入等に関する書類」を貼り付けること。

「収入等に関する書類」は、「主たる家計支持者」のものを提出すること。

・A 特別永住者等(永住者、定住者、家族滞在などを含む)の場合

－給与所得者は「源泉徴収票」（2012 年 1 月～12 月分）

－給与所得者以外は「確定申告書（控）」（2012 年 1 月～12 月分・税務署の受付印があるもの）のコピー。電子申請・ｅ－ｔａｘを行った者は、申告内容確認票のコピーおよび受信通知または即時通知を貼付すること。

－年金受給者は、「年金交付通知書」（「年金振込通知書」「年金額改定通知書」でも可）または前年の所得証明書（課税/非課税証明書などで 2011 年 1 月～12 月の収入・所得を証明する書類）でも可。

－生活保護受給者は、「保護決定（変更）通知書」または前年の所得証明書（課税/非課税証明書などで 2011 年 1 月～12 月の収入・所得を証明する書類）でも可。

－2012 年に於いて収入がない者は、前年の所得証明書（課税/非課税証明書などで 2011 年 1 月～12 月の収入・所得を証明する書類）。

※特別永住者等であっても主たる家計支持者が日本国以外で働いている場合は、「収入等に関する調査書Ｂ」の提出でも可とする。

・B 留学生の場合

「収入等に関する調査書Ｂ」を提出すること。

⑧ **返信用封筒**

長形３号の封筒（23.5×12.0㎝）に応募者の住所、姓名を記入し、90 円切手を貼付すること。

※返信用封筒は「応募書類を郵送する前に確認してください」にある宛名ラベルを使用して作成すること。

見　本　⟶



⑨ **応募書類チェックシート**（本会所定様式）

応募書類がすべてそろっているか確認し、チェック欄に〇をつけること。

やむを得ない事情により、⑤「推薦書」、⑦「収入等に関する調査書」の提出が遅れる場合は、その理由を具体的に記入すること。

応募書類を郵送する前に必ず確認してください。

書類の確認	チェック欄
①願書 1～4 ページ　揃っていますか？（記入漏れや写真の貼り忘れはありませんか？）	□
②研究計画書（大学院生のみ）2 ページ　揃っていますか？	□
③在学証明書（学生証ではありません）はありますか？	□
④学業成績証明書（成績通知表ではありません）はありますか？	□
⑤推薦書はありますか？ （遅れる場合、チェックシートに理由を書きましたか？）	□ （□）
⑥特別永住者証明書・在留カード（または外国人登録証明書）の表裏コピーはありますか？ （学生証と間違わないでください。）	□
⑦収入等に関する調査書Ａ（特別永住者など）、Ｂ（留学生）はありますか？ （遅れる場合、チェックシートに理由を書きましたか？）	□ （□）
⑧返信用封筒（長形３号、新規大学院生は２通、他は１通）はありますか？ 返信用封筒ラベルに住所・姓名を記入し封筒に貼り付けましたか？ ９０円切手を貼りましたか？	□ □ □
⑨応募書類チェックシートはありますか？	□

返信用封筒ラベル　　必ず応募者（学生）の住所・姓名を記入して下さい。

住所	〒　　―
姓名	貴下 （通称名）＿＿＿＿＿＿

住所	〒　　―
姓名	貴下 （通称名）＿＿＿＿＿＿

書類の郵送用ラベル

※角２サイズの封筒に応募書類を同封して、関西地域（大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山）の大学に在学している人は関西支部に、それ以外の地域は本部に提出してください。

◇本部宛

〒１６０－００２３
東京都新宿区西新宿１－８－１
新宿ビル９階

公益財団法人
朝鮮奨学会　奨学部　宛

2013 年度　大学・大学院奨学生応募書類在中

◇関西支部宛

〒５３６－０００７
大阪市城東区成育５－２２－１０

公益財団法人
朝鮮奨学会　関西支部　宛

2013 年度　大学・大学院奨学生応募書類在中